ＪＲ東海労ニュース

№1715
2012年 7月22日
ＪＲ東海労働組合

ＭＶ22オスプレイ配備反対！

日本の軍事大国化を許さず、憲法9条を守ろう！

７月８日、クリントン米国務大臣は玄葉外相と会談し、安全性への疑念が日本側に広がるＭＶ22オスプレイ（米垂直離着輸送機）の米軍普天間飛行機場配備計画を予定通り進めることを明らかにしました。すでに７月３日には、ＭＶ22オスプレイが積載された輸送船が米本土を出港しており、米軍岩国基地に７月24日、陸揚げされることが明らかにされています。

このような動きに対して、陸揚げされる岩国と配備される米軍普天間飛行機場の地元宜野湾市では自治体が反対を表明し、市民・労働組合を中心にオスプレイ配備反対の集会が開催され、配備反対の声が大きく巻き起こっています。マスコミによれば、ＭＶ22オスプレイは「ウィドウ・メーカー（未亡人製造機）」と呼ばれ、91年～07年に５件の大事故があり、うち３件で計30人が死亡したといわれ、米国防省アドバイザーは「能力の欠如」を明らかにしています（サンデー毎日７／22号）。

ところで何故、オスプレイの米軍普天間飛行機場配備なのでしょうか？今年、日米両政府は、「日米同盟の抑止力を強化する」ことを明らかにしました（４・27日米安全保障協議委員会「共同発表」）。アジア・太平洋全域にわたる広大な地域を在沖米軍基地をはじめとする日本全土の米軍・自衛隊基地を、対中国最前線の最大最重要の基地として強化し、日本の自衛隊を米軍と一体で軍事行動を展開させる狙いがあるといえます。ＭＶ22オスプレイの米軍普天間飛行機場配備を通じた、日本の軍事大国化に反対しましょう！

中国新聞　2012年（平成24年）7月2日（月曜日）

オスプレイ搬入拒否

岩国市長 山口知事「安全性に不安」

防衛相と会談

森本敏防衛相は1日、山口県入りし、米軍が米海兵隊岩国基地（岩国市）に垂直離着陸輸送機MV22オスプレイを先行搬入する計画について、岩国市の福田良彦市長と二井関成知事と面会して理解を求めた。福田市長、二井知事とも先行搬入を強く拒否した。森本防衛相はこの日、山口県入り前に沖縄県の仲井真弘多知事とも会談した＝3・21・25面に関連記事。（酒井亨、山田英和）

森本防衛相（手前左）にオスプレイ先行搬入の断固反対を伝える岩国市の福田市長＝右端（撮影・山本晋）

沖縄知事も「反対」

事故時の基地閉鎖 言及

森本敏防衛相は1日、沖縄県の仲井真弘多知事と県庁で会談し、米軍による垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの普天間飛行場配備計画への理解を求めた。仲井真知事は、「安全性に疑問がある」

日本政府や自治体にに苦慮しそうだ。米軍の配備を拒否する法的権限はないが、野田政権は配備を急ぐ米側との間に立って対応

福田市長は岩国市役所で森本防衛相から説明を受け、「市は国防に協力するスタンスで

岩国市長発言のポイント

- 安全性の不安が払拭（ふっしょく）されていない状況では、陸揚げ（による搬入）について、飛行の有無に関係なく了解できない
- 安全性が確保されないうちは飛行